

# くまさんだより

日本基督教団 豊橋東田教会  
〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町 112 ☎0532-54-3435  
公式サイト <https://azumada.org/> 武井恵一牧師 080-3428-3200

2020年  
1月号

1月19日発行

イラストは全て池谷陽子さんご提供

## 1月12日 降誕節第三主日礼拝説教 「世界宣教の福音」武井 恵一牧師 ルカによる福音書1章1～4節 新約聖書99頁

新しい年の第二主日を迎えました。今日からは新約聖書「ルカによる福音書」の連続講解説教に入ります。執筆者ルカは、この福音書に続いて「使徒言行録」をも表わしました。この二書は三位一体の神様による喜びの訪れ「平和のいしづえ」である新約聖書のかげがえのない大きな一環として、世界中のキリスト教会・伝道所・様々な会で、感謝の内に読まれ、活かされ、用いられている貴重な福音の言葉です。

新約聖書を通読された方はかなりおられるでしょう。申し上げるまでもなく、マタイによる福音書、マルコによる福音書、ルカによる福音書、ヨハネによる福音書、使徒言行録、これに加えて、手紙が21書、そして最後にヨハネの黙示録があります。

どれもが計り知れない重要性を持っていますが、中でも「イエス・キリストの福音」について、四福音書に記され、それぞれに貴重な言葉が生きています。

今回、特に気づかされたのは、「ルカによる福音書」と「使徒言行録」に記されている「イエス・キリストの福音」にみなぎっている「福音宣教」の意欲と熱意です。

もちろん、マタイ福音書をはじめ各福音書は、三位一体の神様の福音を著すことが中心です。たとえばマタイによる福音書は「ユダヤ・イスラエルの人々にキリストを伝え理解をうながす」ことに力が注がれ、マルコによる福音書は、



何とかしてユダヤ戦争が起こる前に「イエス・キリストの福音を世に著さなければ」という、切迫した状況の中で取り組まれ、世に著されました。ヨハネによる福音書は福音に込められている「真理」「愛」「信仰」「希望」を世界の知識人に向けて記されています。

そして、「ルカによる福音書」は、「福音宣教」に全力が注がれ、続く「使徒言行録」で「イエス・キリストの福音」が、世界歴史上に「福音・信仰共同体」=教会=として立ち上げられてゆく過程が書かれています。



豊橋東田教会では、神様が下さる「愛」を皆様と分かち合い、親しんでいただきたいと願い、まだご存じない方々にできるだけキリスト教を知っていただきたく、この二巻をお話する次第です。喜びの生涯、永遠の命にいたる道に招いてくださる神様の大きな力と恵みを受け止め、礼拝にあずかる時、わたしたちは、宣教の働きをになう者とされます。

今日は、これらを主日礼拝説教の連続講解の最初としてお話いたします。

### ルカによる福音書1章1～4節

<sup>1-2</sup>わたしたちの間で実現した事柄について、最初から目撃して御言葉のために働いた人々がわたしたちに伝えたとおりに、物語を書き連ねようと、多くの人々が既に手を着けています。<sup>3</sup>そこで、敬愛するテオフィロさま、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、順序正しく書いてあなたに献呈するのがよいと思いました。<sup>4</sup>お受けになった教えが確実なものであることを、よく分かっていただきたいのであります。



聖書記者ルカについてお話します。ルカは「ルカによる福音書」と「使徒言行録」の著者であり、主イエスと共に活動していた弟子のひとりでした。教養あるギリシア人で医師であり、パウロと伝道したと聖書に記されています。

ルカはこの書を「テオフィロさま」に献呈しています。彼はローマ市民と見られますのでラテン語で辞書をひきますと「テオロギア theologia」は「神学」です。ですから、テオフィロは神学に何か関係していると思われます。神の友、神を愛する者ともいわれています。そう考えると、この人物はローマの高官と見られ、ユダヤ・イスラエルに総督として派遣されたピラトとも何かの関係でつながっていたと考えよう。

ルカは、多分ローマ帝国高官に医師として携わり、ローマ帝国の高官テオフィロとも関係があったとみられます。そこで、テオフィロは、主イエスを信じている医師ルカに「イエス・キリスト」の働き・奇蹟を「もっと知りたい」と求めたとしても不思議はありません。

テオフィロとルカは、主イエス・キリストの実際の活動と、主イエス・キリストが語られた福音をかなりの深さで共有し、ルカはテオフィロの求めに応じ、イエス・キリストの出来事を初めから詳しく調べ、順序正しく書いたと記しています。ルカは、積極的に福音の成就＝神様のご計画に向かって聖書の執筆をしました。これにより、ルカは、「キリスト者」として主イエスへの信仰をますます高め、心から主イエスに従う者とされたと理解されます。



わたしたちは、今、ルカによる福音書によって「テオフィロさま」という方の存在を知りました。わたしたちにとっては、大きな時代を隔て、場所を異にし、お名前だけが確認された歴史上の存在です。しかし、実はテオフィロは私たち自身のことでもあります。ルカ福音書は神様と主イエス・キリスト、聖霊の主を思い、創造主なる愛の神様が私たちと共にいてくださると、信じるわたしたち自身に語られた言葉であります。ルカがイエス・キリストの御業を目撃した者として、誠心誠意をもってこの書を著したのは、わたしたちの信仰をも確かにするものであります。

こうしてみますと、テオフィロ個人にとどまらない、「テオフィロ氏ご夫妻」「テオフィロ家の人々」そして、わたしたち、キリストの救いを求める者すべてに向けてこの書が記され、福音を伝える働きに様々な形で参与するよう促しているのであります。

三位一体の神様がわたしたち一人一人を受け止め、イエス・キリストにより、「福音による神様の愛と、強大な働き、そして喜び」を、与えて下さり、神様の救いの御業に参与するキリスト者に力と、希望と、喜びを与えてくださることを感謝したいと思います。



ルカがテオフィロに献呈したこの書は、キリスト教が世界宣教の福音として神様の大きな計画の一步となりました。テオフィロのイエス・キリストへの思いと、それに誠実に答えようとするルカの熱い信仰の書であります。そして、ルカは、テオフィロならぬわたしたちのためにもこの書を著したのであります。

ルカによる福音書を全体を通して読み進みますと、ルカとテオフィロの関係が神様によって用いられ世界宣教が展開されてゆく糸口となったと理解されます。

ここに記されているのは、まさにわたしたちの人間社会、人間中心の世界が、神様の大きな計画に向かって大きく革新される、宇宙全体が「愛によって」大きく変革されるという神様がなさる御業の始まりと理解されます。

神様の大きな計画とは、神の子イエス・キリストの十字架と復活によって始まった『宇宙全体を神様の愛の御国に導くご計画』です。その、喜びの内に生かされる場に、私たちも加えられている、「私たちは招かれている!!」ことを今知りました。この招きに、心と霊とをもって祈りお答えしましょう。

ひとり、ひとりが、三位一体の主祈りををもって確認しましょう。わたしたちにできることは、主をあがめ、主なる全能の神様に心からお祈りすることです。その祈りは、毎日祈っている「感謝の祈り」とどまりません。「わたしたち小さい小さい存在をも、どうか神様の大きな計画の一端に加えてください」という、福音に招かれた者の祈りです。

しかし、現代の社会に目を向けてみましょう。現在の人間世界にどれほど多くのキリスト者が生かされ、用いられているかを。わたしは統計の数字を知りませんが、もうはるか以前に「世界のキリスト教人口が世界人口の三分の一を超えた」と聞き、日本の現状を比べて大変驚いたことを覚えています。

神様の大きな計画は現在の人間世界でも進み続け、その愛をその恵みを増やし続けています。

けれども、人間世界全体では、経済が独占的な力をますます拡大し、貧困国家、貧困に苦しむ人々の状況がますます悲惨になっていると聞きます。世界の経済統計が大きくバランスを崩したまま拡大し続け、貧困の比率が更に増大し続けているとの世界的状況を耳にし、目で確認できるからです。

このような世界に対して、「私たち、キリスト者は、現実社会・現実世界の悲惨さにもかかわらず、神の愛と信仰に立ち返る必要がある」と言う言葉に聞き従うことが求められています。私自身は、世界の現実を痛く自覚しています。また、私自身がその現実を変えることの困難をも自覚しています。

たとえそうであっても、私にとって今なすべきことは、「三位一体の神様が示される(と意識する)活動を、第一として取り組む」ことです。貧しい働きしかできない私を、神様はご存知です。感謝し、ルカ福音書によって示された世界宣教の福音に招かれた者として、できることに励みます。

わたしたちは、今日、「ルカによる福音書」そして、「使徒言行録」に込められた父なる神、主イエス・キリスト、そして聖霊の主が導いておられる、宇宙全体を神様の愛の御国に導くご計画、即ち、神様の大計画に入れていただく者とされました。イエス・キリストが人となられ全ての罪をになわれわたしたちは喜びの内に、新たな命に生きる者とされています。そして、わたしたちはこの喜びの福音、『世界宣教の福音』を世に伝えるという自分にとってかけがえない生涯に向かう入り口に立たされたのです。主イエス・キリストが招いて下さいます。歩み始めましょう。

祈り 讚美歌(21) 480 「新しい時をめざし」

聖書の言葉はすべて以下から引用しています。  
 聖書 新共同訳：  
 (c) 共同訳聖書実行委員会  
 Executive Committee of The Common Bible Translation  
 (c) 日本聖書協会  
 Japan Bible Society, Tokyo 1987, 1988



## パラグアイ伝道報告の集い

日時：1月30日(木)19:30~20:30

場所：豊橋東田教会

日本基督教団から地球の裏側、南米パラグアイのピラゴ自由メソジスト教会に派遣されている江原 有輝子牧師が一時帰国され1月30日の木曜会でお話しを聞かせて下さいます。

夜は、牧師館に泊まれる予定となっていますので、ゆっくりお話しを聞かせていただけると思います。又とない機会です。是非聞きに来て下さい。

教会内に数台分の駐車場がありますが、お車でお越しの場合は予め連絡をいただくとありがたいです。